

日本学生支援機構奨学金 スカラネット入力下書き用紙 記入要領（2次採用）

- ・本スライドを見ながら、下書き用紙の全項目に記入してください。
- ・貸与のみ申請する場合は、ピンク色の下書き用紙(貸与用)を準備し、ページを読み替えて記入してください。
- ・誤った内容を記入すると審査に影響する等、不利益を被る場合があります。すべて正確に記入してください。

スカラネット下書き (給付・貸与共通)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙P1
貸与のみ申し込む方は、**貸与奨学金用(ピンク)**を使用してください。

学生が、申込入力内容を
下書き用紙に完全記入

下書き用紙の通りに学生が
ネットより**申込入力**

学生が入力した内容と
申込書の内容を学校が照合

大学が支援機構に
申込データ送信

※下書き用紙に表示している内容は2024年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2024年度
スカラネット入力下書き用紙
【給付奨学金（貸与同時申込み）用】



独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを申し込みの際の「スカラネット入力下書き用紙」です。この下書き用紙には給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する設問があり、希望する奨学金の種類によって回答の必要な設問が異なります。給付奨学金のみを申し込む人は、青色背景の設問のみに答えてください。給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む人は、青色背景と灰色背景の両方の設問に答えてください。

スカラネットURL: <https://www.sas.jasso.go.jp/>
受付時間: 8:00~25:00 (最終締切日は8:00~24:00)
生受付時間外の場合は画面が凍結されます。余裕をもって入力を開始してください。
入力所要時間の目安は30分~1時間です。

氏名

学籍番号

学部・学科・分野

受付番号

【スカラネット入力の際、手元に用意する書類】

- 学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
- マイナンバー提示書
- 奨学金申込書（本人名義）の通称などのコピー（本用紙の裏ページに貼り付けてください。）

【スカラネット入力内容記入欄】

識別番号入力
学年などの識別番号（学校から受け取ったユーザIDとパスワード）を入力してください。
(注) パスワード入力は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID

パスワード

【奨学金申請（学校）への申込の流れ】

表示の順に各設問で奨学金を受けたいかどうかを回答してください。

大学の奨学金の申込例

奨学金の種類を選択してください。
(1) 給付奨学金（1.1または1.2のどちらかを選択）
(2) 貸与奨学金（2.1または2.2のどちらかを選択）
(3) 給付奨学金と貸与奨学金の両方を選択

【注意】
「奨学金の種類」を選択している際の注意事項
「奨学金の種類」を選択している際は、必ず「奨学金の種類」を選択してください。選択した奨学金の種類が、希望の奨学金の種類と一致しない場合は、申込書の提出ができません。

高等専門学校の奨学金の申込例

奨学金の種類を選択してください。
(1) 給付奨学金（1.1または1.2のどちらかを選択）
(2) 貸与奨学金（2.1または2.2のどちらかを選択）
(3) 給付奨学金と貸与奨学金の両方を選択

【注意】
「奨学金の種類」を選択している際の注意事項
「奨学金の種類」を選択している際は、必ず「奨学金の種類」を選択してください。選択した奨学金の種類が、希望の奨学金の種類と一致しない場合は、申込書の提出ができません。

大学（通信課程）の奨学金の申込例

奨学金の種類を選択してください。
(1) 給付奨学金（1.1または1.2のどちらかを選択）
(2) 貸与奨学金（2.1または2.2のどちらかを選択）
(3) 給付奨学金と貸与奨学金の両方を選択

【注意】
「奨学金の種類」を選択している際の注意事項
「奨学金の種類」を選択している際は、必ず「奨学金の種類」を選択してください。選択した奨学金の種類が、希望の奨学金の種類と一致しない場合は、申込書の提出ができません。

受付番号 (給付・貸与共通)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙P1

※下書き用紙に表示している内容は2024年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2024年度

スカラネット入力下書き用紙

【給付奨学金（貸与同時申込み）用】



独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。この下書き用紙には給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する設問があり、希望する奨学金の種類によって回答の必要な設問が異なります。給付奨学金のみを申し込む人は、青色背景の設問のみに答えてください。給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む人は、青色背景と灰色背景の両方の設問に答えてください。

スカラネットURL <https://www.sas.jasso.go.jp/>

受付時間 8:00～25:00（最終締切日は8:00～24:00）

※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。

入力所要時間の目安は30分～1時間です。



氏 名	学籍番号	学部・学科・分野
若木 太郎	240000	文

入力の際に必要な項目です。
学校の担当者に必ず正しい名称を確認してください。

受 付 番 号																	
1	2	3	4	5	6	7	8	-	1	2	3	-	1	2	3	4	5

入力が完了し「送信」ボタンを押した後に、受付番号が画面に表示されます。

申入入力内容を送信後、
画面に表示された「**受付番号**」を必ず控えてください。

入力内容記入欄 (給付・貸与共通)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙P1
【スカラネット入力内容記入欄】

識別番号入力
 あなたの識別番号（学校から交付されたユーザIDとパスワード）を入力してください。
 （注）パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID パスワード

奨学金学種（学校）・申込の選択
 あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。

☒ **大学の場合の表示例**

申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

☒ (1) 定期採用（1次又は2次）給付奨学金・貸与奨学金

☒ 現在在学している大学での奨学金

☐ (2) 家計急変採用（給付奨学金のみ）

☐ 生計維持者に特定の事由が生じたことで家計急変し、急変後の収入状況が住民
 反映される前に支援を要する場合のみ申し込むことができます。

学校で申込資格を確認してください。

- (1) ・「大学の場合の表示例」を選択
・奨学金学種（学校）は、「大学」を選択(大学院生は「大学院」)
・今回定期採用で申請するので(1)を選択

奨学金学種の選択 (給付・貸与共通)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P2

奨学金申込専用ページ

■ログイン

申込IDとパスワードを入力して、下の「次へ」ボタンを押してください。

申込ID Z D 2 4

パスワード

申込ID・パスワードについて

(注) パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

全員提出 マイナンバー提出書 【2024年度在学採用】

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

私は、日本学生支援機構(以下、「機構」という)の貸与奨学金、給付奨学金又は貸与奨学金と給付奨学金の両方を申し込むにあたり、私及び生計維持者のマイナンバー(個人番号)並びに機構が指定する番号通知書等を提出します。また、私及び生計維持者は、機構が「行政手帳」における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(及び関連法令で定められた範囲で、各々のマイナンバーを利用すること及び該等関係情報を利用すること。並びに機構が取得した各個人の個人情報を私への奨学金に関する案内に利用することに同意するとともに、私が機構から過去に貸与若しくは支給を受けた奨学金又は今後貸与若しくは支給を受ける奨学金についても上記のとおり同意します。

スカラネットからの奨学金申込完了後、チェック☑してからマイナンバーを提出してください! ➡

この提出書は、下記申込IDを照ってスカラネットから奨学金の申込みをした方専用です。
スカラネット申込時に入力した申込IDとマイナンバー提出書の申込IDが相違している場合は再提出が必要になります。

申込ID * * * * * 初期パスワード * * * * *

STEP1

確認書兼同意書の提出

※給付奨学金の申込みにあたっては、「確認書兼同意書」を「給付奨学金確認書」に、「貸与申込条件等」を「給付申込条件等」に読み替えてください。

あなた(あなたが未成年(18歳未満)の場合は、あなたと親権者または未成年後見人)は、「確認書兼同意書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名した「確認書兼同意書」を提出しましたか。

- 貸与申込条件等
- 個人情報情報の取扱いに関する同意条項

※「個人情報情報」の取扱いに関する同意条項には、延滞するとあなたの個人情報が個人情報機関に提供されること、また、あなたの個人情報が記録されています。

☒ 提出しました。

☐ 提出していません。

下の「規定等を表示」ボタンを押して規定等(保証委託約款を含む)を確認し、了承する場合のみ、申込みを行ってください。

※規定等を確認しなければ、次の画面に進むことはできません。

次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。

規定等を表示

了承します

次へ

①-誓約欄〈誓約日〉（給付・貸与共通）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙P3

①-あなたの氏名・誓約情報

日本学生支援機構理事長 殿

私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に提出した「確認書兼同意書」及び「給付奨学金確認書」にしたがい、奨学生に採用決定後は速やかに貸与奨学金は「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後、または給付に返還の義務が生じた場合には滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

誓約日 西暦	入力する日 (半角数字)	姓 名	漢字氏名	若木 太郎	
			カナ氏名	ワカギ タロウ	
生年月日			年	月	日生

- ・「誓約日」は、ネットで申込入力をした日です。（下書き時は未記入）
- ・外字は使用しないでください。（例） ×吉→○吉、×祐→○祐
- ・外国名…ミドルネームは名前とつなげて入力します。
 - * 住民票の表示に字体を合わせてください。（漢字、カナ）
 - * 住民票に記載があれば通称名使用可
（ただし、大学に登録している氏名と一致していること）

①-誓約欄〈国籍・給付申込の注意点〉（給付・貸与共通）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙） P3

国籍	☒ 日本国籍 ☐ 日本国籍以外
国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を選択してください。	
※国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の証明書類を学校へ提出する必要があります。	
※在留資格が永住者又は特別永住者の場合は、在留期間（満了日）の入力は不要です。	
在留資格	
在留期間（満了日） 西暦(4桁)	年 月 日

外国籍の方は、「奨学金案内」14ページ(給付)、8ページ(貸与)を確認し、該当の方は各項目に記入してください。

給付のみ

奨学金支援区分の情報提供の確認◆
あなたが給付奨学金を申込みの場合は、あなたの給付奨学金における審査結果（支給額の割合に関する情報を含む。）について、機構のシステム等を通じて在籍する学校に必要な応じて提供します。
☒ 同意します
◆第一種奨学金の貸与月額の確認◆
あなたが第一種奨学金（要返還。無利子）と給付奨学金又は授業料等減免の支援を併用で受ける場合は、政令等の規定に基づき、給付奨学金の支給月額及び授業料の減免額に応じて、第一種奨学金の貸与月額が調整（減額または増額）される場合があります。調整の結果、借入金額が増額となる場合は、別途届出が必要になります。また、調整後の貸与月額につき選択が可能な場合は、機構の定めるところにしたがい調整前の貸与月額と同額以下の貸与月額に調整されます。
☒ 同意します

②-奨学金申込情報〈給付・貸与奨学金選択〉 (給付・貸与共通)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P4

1. 給付奨学金の新規申込みを希望しますか。

☒ 希望します

☐ 希望しません

高等教育の修学支援新制度における「授業料等減免」の申請を希望しますか。

☒ 希望します

☐ 希望しません

2. 貸与奨学金（月額：第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子））の新規申込みを希望しますか（現在、貸与奨学金を受けている場合、(c) の (8) ～ (14) を選択する方以外は「希望しません」を選択してください）。

☒ 希望します ☐ 希望しません



給付奨学金と同時に貸与奨学金も申請する場合は
「希望します」を選択してください。

②-奨学金申込情報〈貸与パターン〉（貸与奨学金）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P4

貸与奨学金の貸与パターンを(1)～(14)から選択してください。

※語句について…【併用】第一種奨学金・第二種奨学金両方同時に借りる
【併願】第2第3希望まで申し込む（単願ではない）

◇ 一種のみ/二種のみ **希望する人** → (a)

(a). 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。

○(1) 第一種奨学金のみ希望します。

○(2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合、第二種奨学金を希望します。

○(3) 第二種奨学金のみ希望します。

②-奨学金申込情報〈貸与パターン〉（貸与奨学金）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P4

◇ 一種と二種 両方 希望する人 →(b)

(b). 併用貸与を希望する人のみ記入してください。

○(4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。

○(5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合、第一種奨学金のみ希望します。

○(6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。

○(7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

**現在貸与奨学金を受けておらず、今回の新規採用で一種と二種を同時に受けたい場合、
(b)を選択**

併用貸与は採用基準が厳しくなるため、不採用になる可能性があります。

(5)～(7)のどれかを選択し、併用が不採用だった場合でも第二・第三希望の採用の可能性が残るように選択することをお勧めします。

②-奨学金申込情報〈貸与パターン〉（貸与奨学金）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P4

◇ 現在貸与中の奨学金を変更/追加 希望の人 → (c)

- (c). 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。 ←
- (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。
 - (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。
 - (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 - (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 - (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。
 - (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。
- ※(12) は欠番です。
上記 (8)、(9)、(10)、(11)、(13)、(14) を選択した人は奨学生番号を記入してください。

奨学生番号

現在貸与奨学金を受けている人は、(c)を選択

(8)、(9)は貸与中の奨学金を、今回の新規採用の奨学金に切り替えたい場合。

(10)～(11)は貸与中の奨学金に、今回の新規採用を追加して併用したい場合。

(13)～(14)は貸与中の奨学金に、今回の新規採用を追加して併用したい場合で、併用が不可の場合、現在貸与中の奨学金と異なる種類の奨学金へ変更する場合。

※貸与中の奨学生番号を記入してください。

③-あなたの在学情報 (給付・貸与共通)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙P5.6

③-あなたの在学情報		大学の場合
(例) ※学年で変わります		
1. 学校		
(1) あなたの学校名を確認してください。	(1) ××大学	
(2) あなたの学籍番号を記入してください。(2)(半角英数字記号)	240000	
(3) あなたの在学している学部(科)名を選択してください。(3)		
(注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。		
(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。	(4) ☒ いいえ ☐ 専攻科 ☐ 別科	
(5) 学年を記入してください。	(5)(半角数字) 1 学年	
(6) 昼夜課程を選択してください。		
(6) ☒ 昼(昼夜開講含む) ☐ 夜 ☐ 通年スクーリング ☐ 昼間スクーリング		
(7) 現在通っている学校への入学について、次の①～③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。		
☐ ①現在通っている学校の1年次に入学した。(同一校で転学部・科している場合を含む)		
→入学した年月:	西暦(半角数字4桁) 2024年 4月	
(8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。		
(8) 西暦(半角数字4桁)	2028年 3月 卒業予定	
(9) あなたの正規の修業年限を記入してください。		
(9)(半角数字)	4年 0ヶ月	

- (4)「いいえ」に✓ (専攻科/別科に在籍している場合のみ「専攻科」「別科」に✓)
- (5)現在の学年を記入
- (6)全員「昼(昼夜開講含む)」に✓ (神道文化学部含む)
- (7)本学に入学した年、月は4月と記入、編入学生は履歴も記入
- (8)早見表を確認。過去に休学した場合は休学年数を加算
- (9)全員「4年0か月」と記入 (専攻科・別科・大学院の方はあなたの修業年限を記入)

③-あなたの在学情報〈キャンパスの住所〉（給付・貸与共通）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P6

(10) あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。

※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

郵便番号（半角数字）—

住所 1（自動入力）	東京都	渋谷区	東	<u>1丁目</u>
住所 2（番地以降）（全角文字）	東京都	渋谷区	東	<u>2丁目</u>
	東京都	渋谷区	東	<u>3丁目</u>
	東京都	渋谷区	東	<u>4丁目</u>

複数出る場合
間違えない
ように注意！

(10)あなたが通学するキャンパスのある住所を入力
渋谷キャンパス

〒150-0011 東京都渋谷区東4丁目10-28

たまプラーザキャンパス

〒225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川3丁目22-1

③-あなたの在学情報〈通学形態〉（給付・貸与共通）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P6

※自宅外通学（例） ☐ 自宅通学(またはこれに準ずる) ☒ 自宅外通学

上記で「自宅外通学」を選択した人にお聞きします。 ←

「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたが該当するもの全てを選択してください。

いずれにも該当しない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択し直してください。

- ☒ ①実家(生計維持者いずれもの住所) から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上
- ☐ ②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上
- ☐ ③実家から大学等までの通学費が月1万円以上
- ☒ ④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下
- ☐ ⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

上記で「⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難」と答えた人は、実家から通学した場合、学業継続に支障が生じますか。

☐ 支障が生じる ☐ 支障が生じない

上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。

(11)自宅外通学・・・いずれかの要件に該当し、かつ家賃が発生している場合のみ、「自宅外」を選択できます。

スポーツ学寮に入寮している場合…⑤を選択のうえ「部活動において入寮が義務付けられているため」と記入

④－奨学金給付額情報（給付奨学金）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P7

④－奨学金給付額情報

1. 給付奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) 給付奨学金が採用となった場合、4月振込分からの支給の停止を希望しますか。

☐ はい ☒ いいえ

「はい」と答えた人は、停止理由を選択してください。

- ☐ 2024年4月1日時点で休学中であるため（2024年4月2日以降に休学が始まる場合は該当しません。申込後、別途手続が必要です）。
- ☐ 他団体の奨学金利用に伴い、機構の給付奨学金との併給が認められないため
- ☐ その他

(2) あなたは、2024年4月以降、以下の支援を受ける予定がありますか（ハローワークや役所からあなた本人が受けている給付金があれば、次に該当するものがないか、必ず確認してください）。

※2024年4月以降、以下の国費による支援を受けている期間は、日本学生支援機構の給付奨学金の額は0円となります。

- 教育訓練支援給付金【雇用保険法】
- 訓練延長給付、技能習得手当（受講手当、通所手当）、寄宿手当【雇用保険法】
- 職業訓練受講給付金【職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法律】
- 高等職業訓練促進給付金（ひとり親家庭の親を対象とする給付金）【母子及び父子並びに寡婦福祉法】
- 職業転換給付金＜訓練手当＞【労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律】

☒ 支援を受けておらず受ける予定もない

☐ 支援を受けている
受給予定期間（西暦）（半角数字4桁） 年 月 ～ 年 月

☐ 支援を受ける予定である
受給予定期間（西暦）（半角数字4桁） 年 月 ～ 年 月

(1)併給できない海外留学支援制度や、他団体の奨学金の利用に伴い、支給を停止する必要がある場合のみ、「はい」を選択してください。

(2)表中の、国費による支援を受けている方は、「支援を受けている」にチェックし、受給期間を記入してください。

どちらも、採用されてから他制度の受給終了の届け出があるまで、給付奨学金は振り込まれません。

ただし、採用後の各種手続きは卒業まで必要です。

学費減免のみ受けられる場合があります。

⑤-奨学金貸与額情報〈月額選択〉（貸与：第一種）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P7.8

⑤-奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。
(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

第1希望

【2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額】

区分 月額の 種類	大学				短期大学・専修学校（専門課程）			
	国・公立		私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
最高月額 以外の月額				5万円				5万円
		4万円	4万円	4万円		4万円	4万円	4万円
	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円
	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円

最高月額を利用するためには、併用貸与の家計
それぞれの月額を利用できる収入・所得金額の

⇒ 最高月額を選択した人は、以下の質問に答えてください。
貸与月額〇〇円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。
条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。

第2希望

2018年度以降入学者

最高月額は家計要件がより厳しくなっています。

(上) 希望する金額を選択

(下) 希望額が最高月額の場合、
第2希望を選択

⑤-奨学金貸与額情報〈詳細設定〉（貸与：第一種）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P8

(2) あなたの希望する返還方式を選択してください。 ←

(注) 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

どちらか選択 (2) ☐ 所得連動返還方式 ☒ 定額返還方式 (例)

(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。 (3) ☐ はい ☒ いいえ

「はい」と答えた人はこれまでに今回申込と同一学種で貸与を受けた第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。

奨学生番号（半角数字） ▼

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込を行ってください。

(注) 制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

☒ 同意します。

(2)「所得連動返還方式」「定額返還方式」を選択してください

(3)再貸与の希望

以前4年制大学で第一種を借りたことがある人のみ「はい」に✓（短期大学での貸与は再貸与にあたりません）

⑤-奨学金貸与額情報〈月額選択〉（貸与：第二種）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P8

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

2万円	3万円	4万円	5万円	6万円	7万円
8万円	9万円	10万円	11万円	12万円	

(例) (1) **5万円**

(2) あなたは私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学課程に在学していますか。

(2) ○はい ☒ いいえ

「はい」と答えた人でかつ12万円の月額を選択した人のみ増額月額を希望することができます。

あなたは（医・歯は4万円、薬・獣医は2万円増）を希望しますか。

○4万円 ○2万円 ☒ 希望しない

※貸与月額について確認してください。

あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。

なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第二種奨学金の最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくことになります。

ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。

☒ はい ○いいえ

選択してください

(2)はそれぞれ、「いいえ」「希望しない」に✓

併用貸与で第二種奨学金で12万円を選択した場合「貸与月額について確認してください」で「はい」を入力しないと先に進めないので注意してください。

⑤-奨学金貸与額情報〈貸与始期〉（貸与：第二種）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P8

(3) あなたは何月分から貸与を希望しますか。

(注) 奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。

(3) 西暦（半角数字4桁） 2024 年 10 月

(3)貸与始期

何月分から奨学金を受け取るかを選択します。

貸与開始月は10月～2025年3月のいずれかの月から選択してください。 1月・2月・3月を選択した場合、12月に初回振込および採否結果通知がありませんのでご了承ください。

※第一種・給付の始期は選べません

⑤-奨学金貸与額情報〈入学時特別増額貸与奨学金〉(貸与)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P8

3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ教えてください。

(1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。

1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。

2次採用（秋）は申込み出来ません

(1) ☐ はい ☒ いいえ

「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。

☐ 10万円 ☐ 20万円 ☐ 30万円 ☐ 40万円 ☐ 50万円

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は教えてください。

(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

いずれか選択

(1) ☐ 利率固定方式 ☒ 利率見直し方式

3.入学時特別増額貸与奨学金（2次採用（秋）は申込み出来ません）

奨学生案内P.33を熟読し、希望する場合は必要書類を面接時に提出してください。

※ 1年生、編入学生のみ申し込みできます

4.利率の算定方式

第二種奨学金および入学時特別増額奨学金を希望する方は利率の算定方法をどちらか選択してください

複数の奨学金を申し込むときの月額設定について

不採用の種別があった場合でも学費が不足しないよう、月額の設定に注意してください。

【月額10万円が必要な場合の例】

① 第一種奨学金と第二種奨学金合計で10万円を申し込んだ場合

第一種奨学金 50,000円

第二種奨学金 50,000円

第一種奨学金不採用だと・・・

第二種奨学金
50,000円のみ

金額が足りない!!!

② 第二種奨学金だけで10万円を申し込んだ場合

第一種奨学金 50,000円

第二種奨学金 100,000円

第一種奨学金不採用でも・・・

第二種奨学金

100,000円

②の場合、両方採用されると月額15万円となり、予定金額を上回りますが、採用後に提出する「返還誓約書」とともに減額の申請ができます。

※併用が不採用の場合、申し込みパターンの第二希望を二種にする必要があります。「②-奨学金申込情報」が正しく選択されているか確認してください。

⑥-あなたの履歴情報〈学歴〉（給付・貸与共通）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P9

⑥-あなたの履歴情報 (例) ※学年で変わります

1. あなたの最終学歴を記入してください。

1. 西暦（半角数字4桁） **2024年 3 月** **高等学校** 卒業または退学

2. あなたは国内の高等学校（本科）を卒業しましたか。

※ここでいう「高等学校」には、国内の中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校（第1学年から第3学年まで）又は専修学校の高等課程（修業年限が3年以上のもの）を含みます（インターナショナルスクールや在外教育施設等を含みません）。

※現在、高等専門学校の第1学年から第3学年まで在学中の場合は入力不要です。

☒ はい ☐ いいえ

「はい」と答えた人にお聞きします。
あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください。

西暦（半角数字4桁） **2024年 3 月**

1. あなたの最終学歴

高校、大学等の直近の卒業年月を記入し、「高校」「大学」など学種を記入

2. 国内の高等学校卒業有無

「はい」と答えた方…卒業年月を記入

「いいえ」と答えた方…設問に従って回答

⑥-あなたの履歴情報〈奨学金履歴〉（給付・貸与共通）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P9

3. 【給付】 あなたはこれまでに、日本学生支援機構の【給付奨学金】（原則、返還不要）を受けていますか。（現在支給が終了しているものを含む）
☒ はい ☐ いいえ

【貸与】 あなたはこれまでに、「②-奨学金申込情報」で入力した他に日本学生支援機構の【貸与奨学金】（第一種・第二種）（原則、要返還）を受けていますか（現在貸与が終了しているものを含む）。
☒ はい ☐ いいえ

→ 上のいずれかの設問で「はい」を選択した人はその奨学生番号を記入してください。

※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合、貸与額が調整されます。
※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。
※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

奨学生番号 1	619 02 012345
半角数字 例 奨学生番号 1	013 04 012345
奨学生番号 2	822 04 012345
奨学生番号 3	017 04 012345
奨学生番号 4	520 04 012345
奨学生番号 5	

奨学金履歴のない方は「いいえ」

3.あなたの奨学金履歴

給付・貸与の受給履歴それぞれにチェックし、これまでに受けた・現在受けている奨学金の奨学生番号を記入します。（「②-奨学金申込情報」に記入した奨学生番号は不要）

短期大学等含め、全て記入してください。

⑦-保証制度 (貸与奨学金)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P10

⑦-保証制度

1. あなたが希望する保証制度を選択してください。

☐ 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

☐ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。←

☐ 人的保証

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

☐ 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。←

併願又は併用で申し込み（②-奨学金申込情報で次の選択肢を選択した場合）、

(2) 第1希望：第一種奨学金 第2希望：第二種奨学金

(4) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）

(5) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第一種奨学金

(6) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第一種奨学金
第3希望：第二種奨学金

(7) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第二種奨学金

かつ第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合

▼ 1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

所得連動返還を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。

☒ 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

☐ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。←

2. 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

☐ 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

☐ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。←

☐ 人的保証

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

☐ 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。←

⑦保証制度

希望する保証制度を選択

採用後の変更は原則できないため、説明動画を視聴し、制度を理解したうえで選択してください。

併用を希望する場合

第一種奨学金を所得連動返還方式にする場合に限り、第二種奨学金の保証制度は統一されません。

⑧-あなたの返還誓約書・誓約書情報〈本人情報〉（給付・貸与共通）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P10

⑧-貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人等情報

1. あなた自身について入力してください。

(1) あなたのお名前は△△ ○○さんですね。 ←

(2) あなたの性別を選択してください。（任意） (2) ○男 ○女 ○回答したくない

(3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。 (3) 成年判定

(4) あなたの現住所を記入してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。

(4) 郵便番号（半角数字） -

住所 1（自動入力）

住所 2（番地以降）（全角文字）

(5) あなたの電話番号を記入してください。

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

（ハイフンなし・半角数字） 03 - -

携帯電話の電話番号を記入してください。（ハイフンなし・半角数字） 090 - -

複数出る場合
間違えない
ように注意！

(4)学生本人の郵便番号と現住所を記入してください

- ・住所1に「都道府県～○丁目」まで記入
- ・住所2に「番地等から」を記入

※マンション名は省略可（棟番号・記号・部屋番号は省略不可）

⑧-あなたの返還誓約書情報〈連絡先〉（貸与:機関保証）

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P11

〈本人以外の連絡先〉 機関保証を選択した場合

2. 本人以外の連絡先について ←

あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名

	姓	名
(1) 漢字（全角5文字以内）		
カナ（全角15文字以内）		

(2) その生年月日 (2) 年 月 日生

(3) あなたとの続柄 (3)

(4) その住所 (4) 郵便番号（半角数字） -

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(5) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(ハイフンなし・半角数字) 03 - -

その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし・半角数字) 090 - -

複数出る場合
間違えない
ように注意！

父母どちらかで構いません。（連絡先となる了解を得てください）

⑧-あなたの返還誓約書情報 (貸与:人的保証)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P11

〈連帯保証人〉人的保証を選択した場合

(1) 連帯保証人について入力してください。

- ・原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等にしてください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理（破産等）中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

	姓	名
(a) 漢字 (全角5文字以内)		
カナ (全角15文字以内)		

(b) その生年月日 (b) 年 月 日生

(c) あなたとの関係 (c) **父か母**

未成年後見人の場合は、その続柄

(d) その住所

・連帯保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) 郵便番号 (半角数字) -

住所 1 (自動入力) ☐ 東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目

住所 2 (番地以降) (全角文字) ☐ 東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目

(e) その電話番号 ☐ 東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし・半角数字) 03--

その勤務先 (f) (全角文字) 〇〇株式会社

勤務先電話番号 (ハイフンなし・半角数字) 03--

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

☐ 無職

- ・全項目を正確に記入してください。
- ・連帯保証人は原則父母です。

複数出る場合
間違えない
ように注意！

自営業の場合は
「自営業」と記入
無職の場合は✓のみ

⑧-あなたの返還誓約書情報 (貸与:人的保証)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P12

〈保証人〉人的保証を選択した場合

(2) 保証人について入力してください。

- ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理（破産等）中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字（全角5文字以内）姓名
カナ（全角15文字以内）

(b) その生年月日

(b) 年月日生

(c) あなたとの続柄

(c) **叔父等** ▼

(d) その住所

・保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) 郵便番号（半角数字）-住所検索

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

○東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目
○東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目
○東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

（ハイフンなし・半角数字）03--

その携帯電話の電話番号

（ハイフンなし・半角数字）090--

(f) その勤務先

(f)（全角文字）〇〇株式会社

勤務先電話番号

（ハイフンなし・半角数字）03--

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

☐ 無職

(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。

(g) ☒ はい ☐ いいえ

- ・全項目を正確に記入してください。
- ・父母は選任できません（離婚した父母を選任する場合、続柄は「その他（知人等）」を選択）
- ・父母との同一生計は認められません。
- ・返還能力があり、本人から承諾を得たうえで記入してください。

複数出る場合
間違えない
ように注意！

自営業の場合は
「自営業」と記入
無職の場合は✓のみ

⑨-あなたの家族情報 (給付・貸与共通)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P12・13

⑨-あなたの家族情報

1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。 ☐ はい ☒ いいえ

2. 生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）について記入してください。

1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要です（離婚等により完全に別生計の人を除く）。

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。 (例) (1) 人

(2) 生計維持者①（父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）

(a) あなたとの続柄 (例) (a)

(b) 生計維持者①の氏名 姓 名

(b) 漢字（全角5文字以内）

カナ（全角15文字以内）

(c) 生計維持者①の住所 (c) 郵便番号（半角数字） -

住所 1（自動入力）

住所 2（番地以降）（全角文字）

(d) 生計維持者①の生年月日

(e) 生計維持者①のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。

(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。

(注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。

提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

☒ 準備できている

☐ これから準備する

☐ その他

1.社会的養護を必要としている方は「はい」、あてはまるものを選択し、チェックしてください

2.生計維持者が2名の場合は、生計維持者②にもう1名を記入してください。

(e)マイナンバーは海外在住でない限り「準備できている」「これから準備する」を選択し、入力までに手元に準備してください。

⑨-あなたの家族情報 (給付・貸与共通)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P13・14

(f) 生計維持者①は2022年1月2日以降に転職しましたか。 ←

※転職している場合でも、減収していない場合には、「いいえ」を選択してください。

☐ はい ☐ いいえ

「はい」を選択した場合も、マイナンバーで連携した情報（2022年1月～2022年12月の収入情報）にて審査を行います。ただし、選考結果によっては、書面による直近の給与明細等の提出により、再審査を希望することができます。次から選択してください。

☐ 第一希望の貸与奨学金が不採用となる場合、給与明細等を書面で提出し、再審査を希望します。

※再審査を希望する場合には、追加で生計維持者の給与明細等の提出が必要になることがあります。また、書面審査には1～2か月かかりますので、選考が大幅に遅れることがあります。

☐ 上記の内容を理解の上、直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望します。

☐ 直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望しません。

※なお、給付奨学金については、直近の給与明細等での審査は行いません。



二次採用（秋）は
2022年を2023年に
読み替え

(f) 生計維持者が転退職し、収入が減少した場合は「はい」にチェック

減少後の収入を基に審査したい場合は「希望します」にチェック

再審査不要の場合(減少前の収入で審査)は「希望しません」にチェック

※再審査には大幅に時間がかかります。動画をよく確認し、ご家族ともご相談のうえ選択してください。

(g) 生計維持者①は2023年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。

☐ はい ☐ いいえ

(h) 生計維持者①は2023年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。

☐ はい ☐ いいえ



二次採用（秋）は
2023年を2024年に
読み替え

⑨-あなたの家族情報 (給付・貸与共通)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P14

3. あなたの生計維持者が扶養している親族（あなたを含む）の人数を入力してください。

※以下の両方の条件を満たす親族の人数を入力してください。

1. あなたの生計維持者が税法上扶養していること
2. 1. の生計維持者より年下であること

(1) 2022年12月31日時点で、あなたの生計維持者が扶養している親族（あなたを含む）の人数を入力してください。

人

(2) 2023年12月31日時点で、あなたの生計維持者が扶養している親族（あなたを含む）の人数を入力してください。

人

4. あなたと生計維持者（原則父母）の資産の合計額は2,000万円未満（生計維持者が1人の場合は1,250万円未満）ですか。

※対象となる資産の範囲：現金及びこれに準ずるもの、預貯金並びに有価証券の合計額（不動産は対象としない）。

☐ はい ☐ いいえ

5. あなたと生計維持者（原則父母）の資産の額をそれぞれ入力してください。（1万円未満切り捨て）

(例) (半角数字)

あなた	20	万円
生計維持者①	100	万円
生計維持者②	50	万円
合計	170	万円

3. 【共通】就職した兄弟や一定額の収入(年金含む)がある祖父母は扶養から外れている可能性が高いです。よく確認してから記入してください。

4. 【給付のみ】あなたと生計維持者の資産の合計額が基準額以下かどうかを選択。

5. 【給付のみ】あなたと生計維持者それぞれの資産金額と合計を記入。

⑨-あなたの家族情報 (給付奨学金)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P14・15

◆ 一人親家庭

6. 父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている理由について、次のうち該当するものを選択してください。

☐ 父又は母と死別した。

☐ 父母の離婚等により、父母いずれかとわたし（本人）は別生計である。

※「離婚等」には、離婚調停中、DVによる別居中、又は未婚の場合なども含みます。

☐ 父又は母が、生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。

☐ その他

◆ 父母以外

7. 生計維持者に父母以外の人を入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。（複数選択可）

☐ 両親（父母）と死別した。

☐ 両親（父母）が生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。

☐ わたし（本人）は結婚しており、両親ではなく、生計維持者欄に記載した配偶者に扶養されている（納税手続きにおいて、わたしの夫（妻）の扶養に入っている。）

☐ その他

◆ <共通>一人親家庭・父母以外

必要に応じて、上記の事実関係が確認できる証明書類の提出を後日求める場合があります。上記の申告に間違いありませんか。

☐ はい

☐ いいえ

◆ 申込者本人

8. 生計維持者はあなた自身（独立生計者）と入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。

☐ 両親（父母）と死別し、祖父母や叔父・叔母等の親族から経済的支援を受けていない。

☐ 父母・祖父母ともに死別し、兄弟姉妹は就学中もしくは病気などの理由で働くことができない。

☐ わたし（本人）は結婚しており、配偶者等を扶養している。

☐ その他

6.7

それぞれ当てはまる場合は
チェックを入れてください

8

両親共に死別しており、誰からも経済的支援を受けていない場合と、配偶者を扶養している場合はご相談ください。

⑩-家庭事情情報 (給付・貸与共通)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P15

⑩—家庭事情情報

奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください
(全角200文字以内、下の記入欄をご利用ください)。

注) 第二種奨学金の最高月額を必要とする理由を具体的に記入してください(学校担当者から確認等を行う場合があります)。

(20 × 10)

This image shows a full page of graph paper. It consists of a uniform grid of small squares formed by dashed black lines on a white background. The grid covers the entire area of the page, leaving no margins or other markings.

- ・奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを、記入してください。（2/3以上記入）

⑫-奨学金振込口座情報 (給付・貸与共通)

スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】下書き用紙 P16

⑫-奨学金振込口座情報

1. 公金受取口座の利用を希望しますか。 1. ☐希望します ☐希望しません

2. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。 2. ☐銀行等 ☐ゆうちょ銀行

【銀行等を選択した場合】

金融機関名および支店名を選択してください。

(1) 金融機関名の読みの先頭1文字を選択してください。 (1)

1 (2) 金融機関名を選択してください。 (2)

(3) 支店名の読みの先頭1文字を選択してください。 (3)

2 (4) 支店名を選択してください。 (4)

3. 預金通帳等で確認後、口座番号を入力してください。

3 3. 普通（総合）口座

確認のため、再度口座番号を入力してください。 確認用

4. 口座名義人を入力してください。 (口座名義人は本人に限ります) **4**

4. 口座名義人（全角カナ） 姓 名

【ゆうちょ銀行を選択した場合】

3. 貯金通帳等で確認後、口座の記号－番号を入力してください。

1 **2**

3. 記号－番号 記号 番号

確認のため、再度口座の記号－番号を入力してください。

記号 番号

確認用 -

4. 口座名義人を入力してください。 **3**

(口座名義人は本人に限ります)

4. 口座名義人（全角カナ） 姓 名

1. 公金受取口座 注意！

国（デジタル庁）に事前登録した口座を振込口座に希望する場合のみ「希望します」にチェック。

それ以外は「希望しません」にチェック。

2. 金融機関の選択

1.で「希望します」を選択した方は公金受取口座を入力

通帳等を手元に用意し、間違いなく記入してください。

〈確認事項〉

- ・学生本人名義であること
- ・「普通預金」または、ゆうちょ銀行の「通常貯金口座」であること
- ・使用不可の金融機関でないこと
- ・休眠口座でないこと

終了